

新時代のリーダー像に関する提言

平成14年1月

福井経済同友会

新時代のリーダー像を考える委員会

はじめに

われわれは、昨年 of 年頭所感において、わが国を世界第2の経済規模の大国に育て上げた20世紀体制を検証いたしました。すなわち、東西冷戦の終結、我が国経済のバブル崩壊、IT化の進展に伴う急速なグローバル化を契機として、世界大戦後の社会経済構造の問題点が顕著となり、個人の価値観も大きく変化することとなりました。そして、これまで是としてきた、中央集権体制に基づく地方行財政システム、教育制度、そして、社会をリードする立場の人々のあり方が大きく問われることとなりました。

福井経済同友会では、上記の直面する課題に強い危機感をいただき、21世紀にふさわしい「あり方」を研究するために、平成13年度の新企画とし三つの特別委員会制度を創設し、われわれ自身の手で進めることになりました。そして、「新時代のリーダー像を考える委員会」では、経営者はもとより、組織の長たるリーダーのあるべき姿を探求することになりました。

本委員会では、限られた期間ではありましたが、68名の登録委員、専門委員の方々の熱意に支えられて、4回の研究会と、まとめの検討会を開催し、取り急ぎその結果を下記にまとめるに至りました。ご指導いただいた講師の方々に感謝申しあげるとともに、会員各位をはじめ各界から本まとめに対する忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いとするところであります。

平成14年1月

新時代のリーダー像を考える委員会
委員長 増田 仁視

われわれの考え

「新時代のリーダー像」を考えるにあたって、まずは、21世紀を迎えた「今」がどのような時代なのかを十分認識することが必要と思われる。すなわち、われわれは、いかなる歴史的経過を経て今日に至り、「今」にどのような問題があり、そして今後どう変わって行くのであろうかといった点を踏まえた上で、新時代におけるリーダーは如何にあるべきか、について後記の研究回答を通して考察した。以下にそのまとめを報告したい。

1. 新時代の認識

「今」を一言でいえば、「未曾有の変革の時代」といえよう。

ボーダレス時代といわれるように政治、経済、文化などあらゆる面においてますます国境が低くなってきている。

特に経済面では、世界的に共通のルールの下で世界規模の競争が行われるようになりつつあり、経営者にはこういった状況に適切に対応することの重要性がますます高まってきている。

そして、価値観も大きく変化・多様化し。また、世界的な趨勢として、これまでも増して自然環境の保護や弱者の視点に立った見方が強調され、物質主義から精神的価値を重視する時代へと移行しつつある。

また、世界には富める国がある一方で貧困に苦しんでいる多くの国々があり、その格差是正の問題は今後の重要な課題である。

我国においてはここ十数年の間に、バブル経済とその崩壊を経験し、今もそれに続く長期景気低迷の中にある。また、多くの企業が生産拠点をコストの安価な海外に移し、その結果生じる経済空洞化が深刻な問題となっている。

このような状況のもと、各界において、いわゆる「モラルハザード」と呼ばれる現象が見られ、不祥事が多発し、精神社会の貧困、教育の荒廃など憂慮される事態になっている。そして、既存の組織の改革や、規制の緩和などについても、その必要性が強調されているものの現実がなかなか困難で、社会全体として閉塞感にとらわれている現状にある。

2. 求められるリーダー像

このような状況において求められるのは、どのようなリーダーであろうか。

- 1) まずあげられるのは、“未曾有の変革の時代に、適切かつ柔軟に対応できる能力、資質を有する人”であろう。

政治、経済のあらゆる面における環境の変化の趨勢をよく見据え、先見性と洞察力をもって正しい方向に組織を導いていくことが今リーダーに求められる。変化の早さにただ振り回され、安易に迎合したり、反対に、いたずらに従来の組織、方針などに固執することなど、いずれもあるべきリーダーの姿とはいえない。

また、これからは異なる文化、言語、習慣を持つ多くの人と協調する国際性や、環境、教育、貧困などの社会問題に対して見識と良識をもって対応できる資質が、リーダーには求められる。

- 2) 次に、リーダーとしては、“明確な方針、目標を示し、それを十分理解、納得させ確固たる信念をもって組織を率いていく人”が望まれる。

こういった、いわゆる‘リーダーシップ’はいつの時代であってもリーダーに求められるものであるが、現在のような変革の時代においては、一層その必要性は高いといえよう。

特に経済面では、上述のような困難な時期にあり、なかなか明確に方針を見つけにくい現状にある。また、やむを得ず撤退あるいは思い切った選択を迫られることもある。こういったときこそ、リーダーは独創力と見識をもって新たな方向性を切り開き、変革の時代に対応した方針、目標を定めて組織を率いていかねばならない。

- 3) 最後に、このような時期であればこそ、リーダーとして最も強調されるべきこととして、“人の倫(みち)ともいふべき、人間のあり方についての精神的支柱をもった品格・品性の高い人”があげられる。

いかなる時代であろうとも、いかに価値観が多様化しようとも、変わることなく人間として守るべきことを教えているものは、人類の英知として古今東西を問わず、数多く存在する。それは、多くの人に支えられた宗教であっても、あるいは武士道といった人の生きざまを規律するものであってもよい。こういった精神的支柱を欠く人がリーダーとなっている組織は、ともすれば「浮利」を追いがちとなり、短期的には大きな成果を出したとしても、決して長くは続かないであろうし、尊敬されないであろう。また、現在わが国で多くみられる、不祥事を起こしやすい体質の温床ともなりかねない。

わが国では、古くから儒教を中心とした心理間が人の倫(みち)の基本として受け継がれてきた。そこでは、法律以前の道徳、倫理が大切にされ、恥を知るという形の潔い責任の取り方が強調されてきた。

いま、この未曾有の変革の時代にこそ、こういった精神的支柱を備えた品格・品性の高い人であることが、いやしくもリーダーたる者の必須の条件といえよう。

3．福井経済同友会の心構えと対応

福井経済同友会としては、以上のようなリーダー像を基本として掲げ、会員各位に理解、賛同願い、先ずはわれわれ自身が心の若さと高い志、そして熱い情熱を持って自己啓発に努めるとともに、次代の経営者の育成にも最大限の努力を続けたい。また、会員以外に対しても広くこのリーダー像を啓蒙すべく、あらゆる機会を促えて各界の組織のリーダーにも働きかけていきたい。

とくに、市場経済の中で浮沈を味わい、「最後の勝者は王道を行く」ということの尊さを真に理解しているわれわれ民間経済人としては、人の倫（みち）に則った正しい経営哲学を確立し、率先して社会に範を示すべきであると考えます。

そして、このことを実現するために、この趣旨にそった研究会、公開講演会、交流会などを企画していきたいと考える。

以上

「新時代のリーダー像を考える委員会」活動経過

- 13. 6. 4(水) 「第1回役員会」
 - ・今後の進め方等について協議

- 13. 7. 30(月) 「第1回研究会」
 - ・テーマ 『これからの経営者に求められるもの～私の体験から～』
 - ・講師 株式会社松浦機械製作所 代表取締役社長 松浦 正則氏

- 13. 9. 1(土) 「第2回研究会」
 - ・テーマ 『地域社会との共存を志向した明治時代の経営者』
～住友の広瀬幸平・伊庭貞剛を通じて～
 - ・講師 住友史料館主席研究員・広瀬歴史記念館名誉館長
末岡 照啓氏

- 13. 9. 21(金) 「第3回研究会」
 - ・テーマ 『国際的視野の立った企業経営』
 - ・講師 森綜合法律事務所 シニアカウンセラー
E. アンソニー・ザルーム氏

- 13.10. 2(火) 「第2回役員会」
 - ・提言の具体的な方向性、スケジュール等について協議

- 13.11. 14(火) 「第4回研究会」
 - ・テーマ 『陽明学に学ぶリーダー像』
 - ・講師 京都大学大学院経済学研究科 教授 吉田 和男氏

- 13.12. 3(月) 「懇談会」
 - ・研究成果の取りまとめ、会員の意見交換

新時代のリーダー像を考える委員会 名簿

(敬称略・順不同)

代表幹事	川田 達男	セーレン株式会社	代表取締役社長
	前田 征利	前田工織株式会社	代表取締役社長
委員長	増田 仁規	増田公認会計士事務所	所長
副委員長	佐々木 和也	東工シャッター株式会社	代表取締役社長
	高木 文堂	高木ぶんどろ外国法事務弁護士事務所	代表
	出口 隆弘	株式会社エクシート	代表取締役社長
	三好 勝	三好勝税理士事務所	所長
委 員	朝日 恵子	(学)朝日学園 福井文化服装学院	校長
	天谷 英一郎	永和住宅株式会社	代表取締役
	荒井 由泰	ケイテー株式会社	取締役社長
	五十嵐 紘	フクビ化学工業株式会社	取締役経営企画本部長
	五十嵐 義和	五十嵐株式会社	代表取締役社長
	稲木 長二	三谷マイクロフィルム株式会社	代表取締役
	井上 彪	井上商事株式会社	代表取締役
	今井 啓祐	日本マイヤー株式会社	取締役社長
	今村 善孝	大電産業株式会社	代表取締役社長
	上野 清治	小浜海産物株式会社	代表取締役社長
	江守 清隆	江守商事株式会社	代表取締役社長
	江守 康昌	日華化学株式会社	代表取締役社長
	大西 英之	株式会社マツダオート福井	代表取締役社長
	大谷 明雄	三津井証券株式会社	代表取締役社長
	大谷内 貫美夫	セコム北陸株式会社福井統轄支社	統轄支店長
	小川 修	中央食品株式会社	代表取締役
	小野 博行	福井トヨタ自動車株式会社	常務取締役
	海道 長	株式会社海道工業	代表取締役会長
	梶本 知暉	福井トヨタ自動車株式会社	代表取締役社長
	加藤 真揮夫	西日本電信電話(株)福井支店	支店長
加茂 直人	株式会社カモコン	代表取締役社長	

菊池 慶幸	商工組合中央金庫福井支店	支店長
木瀬 禎造	株式会社ユース	取締役社長
小林 幸一	マルイチセーリング株式会社	代表取締役社長
小林 東生	帝人株式会社北陸営業所	所長
小森 富夫	ユニコシステム株式会社	代表取締役社長
坂川 優	ターミナルホワイ越前観光開発株式会社	代表取締役社長
笹木 竜三	有限会社ササキ・アンド・コー	取締役
塩浜 郁広	株式会社塩浜工業	代表取締役社長
柴田 高志	中小企業金融公庫福井支店	支店長
菅原 将高	フクイテキスタイル株式会社	代表取締役社長
関山 博夫	株式会社芦原グランドホテル隆泉荘	代表取締役社長
田中 保土	株式会社田中地質コンサルタント	代表取締役
玉木 洋	福井キヤノン事務機株式会社	代表取締役社長
佃 栄治郎	中部鉱業株式会社	代表取締役
坪田 清則	福井放送株式会社	取締役副社長
内藤 知	日本生命保険相互会社福井支店	支社長
生井 秀隆	日本政策投資銀行北陸支店	支店長
野坂 弦司	日本システムバンク株式会社	代表取締役社長
灰谷 佳洋	株式会社三星	代表取締役社長
浜坂 星造	浜坂会計事務所	所長
平木 秀典	日本商運株式会社	専務取締役物流本部長
福岡 健司	株式会社福井センイ倉庫	取締役社長
福永 邦男	野尻眼鏡工業株式会社	代表取締役
舟木 幸雄	株式会社福井銀行	常務取締役
本間 茂	山金工業株式会社	取締役社長
前田 靖二	株式会社前田産業	代表取締役
益永 重治	株式会社益永	代表取締役社長
松田 誠治	福井産機販売株式会社	代表取締役
松原 鶴雄	株式会社福井銀行	取締役相談役
水島 正孝	北陸トラック運送株式会社	代表取締役
見谷 英貞	株式会社ミルコン	代表取締役専務
三谷 政敏	敦賀セメント株式会社	取締役相談役
三田村 庄一	サカイオーベックス株式会社	代表取締役社長
宮本 俊	株式会社ダイエイ	代表取締役社長

	村上 義昭	株式会社クォードコーポレーション	常務取締役
	安崎 政士	株式会社ヤスサキ	代表取締役
	山本 保彦	共同コンピュータ株式会社	専務取締役
	横山 勇	株式会社横山敬仙スタジオ	代表取締役社長
	横山 嘉信	アスワ物産株式会社	代表取締役
	吉田 富士夫	株式会社吉田綿文堂	代表取締役社長
専門委員	中山 善寿	福井県立大学経済学部	助教授
事務局	野路 哲治	福井経済同友会	事務局長
	飯田 久人	福井経済同友会	主席調査役